

令和5年度 リカレント教育講座

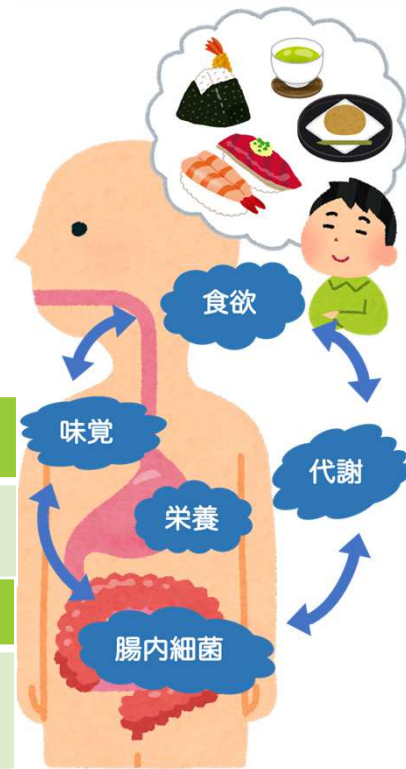
オンライン開催  
(ZOOMを使用)

## 食の栄養機能と代謝調節

### “食が体を調節するしくみ“を学ぶ！

近年の健康志向の高まりから、食品成分の生体調節機能が注目されています。しかし基礎栄養知を持つ人は疑問や違和感も多いのではないのでしょうか？

本講座では、大学の研究者がそれぞれの専門分野の最新データも踏まえ、食の生体機能の実際を解説します。



### 対象

社会人の方 (県内教育関連施設 (栄養教諭、管理栄養士)、県内介護・医療関連施設 (看護師、介護士)、県内食品関連企業、健康関連会社、食提供店)

### 日程

2023年 8月 28日 (月) ~ 9月1日 (金)  
18:00 ~ 19:30 (講義 + 質疑応答等)

8/28 (月) イントロダクション / 鳥居 征司 (群馬大学食健康科学教育研究センター)

8/28 (月) 第1回 「味覚のメカニズム」

中川 祐子 (群馬大学生体調節研究所・助教)

8/29 (火) 第2回 「腸内細菌の科学」

杉山 友太 (群馬大学食健康科学教育研究センター・助教)

8/30 (水) 第3回 「栄養と食欲」

河野 大輔 (群馬大学生体調節研究所・助教)

8/31 (木) 第4回 「ヒトにおける食物の機能性研究の実際」

木村 孝穂 (群馬大学大学院医学系研究科・准教授)

9/1 (金) 第5回 「食機能研究のトピックス/まとめ」

鳥居 征司 (群馬大学食健康科学教育研究センター・教授)

参加費 : 3,000円

申込期間 : 8/1(火)~8/17(木)

お申し込みはこちら ⇒

※アンケートや希望調査により  
オンデマンド配信等も検討します

URL : <https://forms.gle/J3cfv9W4Lvs5J3xF9>



【お問合せ】

〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町4-2

国立大学法人群馬大学

研究推進部産学連携推進課荒牧センター事務室

☎ : 027-220-7449

✉ : [shokukenkou-c@jimu.gunma-u.ac.jp](mailto:shokukenkou-c@jimu.gunma-u.ac.jp)



## 令和5年度 リカレント教育講座

オンライン開催

### 食の栄養機能と代謝調節 2023年 8月 28日 (月) ~ 9月1日 (金) 全5回

#### 第1回「味覚のメカニズム」

8/28 (月) 18:00~19:30

講師 中川 祐子 (群馬大学生体調節研究所・助教)

(概要) 味のしない食事を想像することができるのでしょうか？ 私たちにとって「味を感じる」ことはなくてはならないことですが、どのように「甘い」「しょっぱい」「酸っぱい」味を感じているのか普段の生活において考えることは少ないでしょう。本講義ではそれぞれの味を感じるメカニズムを分子レベルで学び、どのようにして味を感知し認識しているのかを理解し、味覚感知の意義について深く考えてゆきます。

#### 第2回「腸内細菌の科学」

8/29 (火) 18:00~19:30

講師 杉山 友太 (群馬大学食健康科学教育研究センター・助教)

(概要) 腸内細菌は、宿主の様々な健康状態に影響を及ぼします。腸内細菌に影響する因子は数多くありますが、日常摂取する食餌成分は特に重要です。本講義では、腸内細菌による食餌成分の代謝と宿主への健康効果について、具体例を挙げながらお話いたします。

#### 第3回「栄養と食欲」

8/30 (水) 18:00~19:30

講師 河野 大輔 (群馬大学生体調節研究所・助教)

(概要) 脳にある食欲の中樞は、末梢臓器と連携しながら、体内の栄養状態を一定に保つ働きをしています。それにも関わらず、近年、世界的に肥満が急増しており、大きな問題となっています。本講義では、脳に注目しながら、食と体重制御について概説いたします。

#### 第4回「ヒトにおける食物の機能性研究の実際」

8/31 (木) 18:00~19:30

講師 木村 孝穂 (群馬大学大学院医学系研究科・准教授)

(概要) 過体重、肥満、糖尿病の増加は世界的に喫緊の課題です。食習慣の改善により体重増加や糖尿病への移行を抑制することが重要です。本講義では群馬県の特産物であるこんにゃくの健康増進効果を糖代謝、脂質代謝に注目して解説します。

#### 第5回「食機能研究のトピックス/まとめ」

9/1 (金) 18:00~19:30

講師 鳥居 征司 (群馬大学食健康科学教育研究センター・教授)

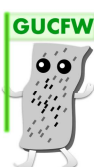
(概要) 食物を摂取したとき、我々の身体の中では実に多様な反応がなされています。味覚から始まり、腸内環境や食欲、そして栄養以外の調節機能について総論として振り返ります。また栄養・医科学研究の最新のトピックスを取り上げて食健康について一緒に考えたいと思います。

### 運動の生体調節作用 ( 2023年 9月 ) 全5回

令和5年度開催予定

### 生物統計とデータ解析 ( 2024年 1月 ) 全15回

令和5年度開催予定



【お問合せ】

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

国立大学法人群馬大学

研究推進部産学連携推進課 荒牧センター事務室

☎ : 027-220-7449

✉ : shokukenkou-c@jimu.gunma-u.ac.jp